

戦争をさせない
Anti-War Committee of 1000
1000人委員会

1000人委員会ニュース
NO.42
(2016年5月1日)
〒101-0063 東京都千代田区
神田淡路町 1-15 塚崎ビル三階
TEL.03-3526-2920
FAX03-3526-2921

安保法は憲法違反

歴史的前例のない違憲訴訟を

全国 15 力所の地裁へ集団提訴

違憲訴訟の会が決起集会 (4月20日)

安保関連法＝戦争法に反対する弁護士らでつくる「安保法制違憲訴訟の会」は、4月20日、参議員会館講堂で決起集会を開催し400名の参加がありました。集会では、今月26日に東京地裁に違憲訴訟を起こし、その後全国15力所の地裁で提訴していくことを発表、原告団の代表がたたかいへの決意を語りました。



平和的生存権侵害で損害賠償請求と安保法の発動の差し止め請求

集会は、最初に**共同代表の寺井一弘弁護士**が違憲訴訟の意義と現状について報告、「平和憲法と民主主義を守り抜くにあたって深刻な事態となっている。全国の弁護士や元裁判官ら620人以上が集まって昨年準備してきた違憲訴訟は、原告となる意思を持った市民が2000人以上になっている。安保法制の廃止を求めて歴史的な前例のない違憲訴訟に挑みたい」と決意を述べました。



また、**伊藤真弁護士**は、なぜ、違憲訴訟かについて提起、「戦争は最大の人権侵害。違憲訴訟は国民運動の一環としてのたたかいにして、絶対にあきらめることなく、安保法の廃止を実現していきたい」と語りました。



また、**福田護、田村祥三両弁護士**より提訴の内容が①安保法が憲法の保障する平和的生存権を侵害し精神的苦痛を受けたことへの慰謝料請求を求める国家賠償法請求訴訟とすること、②安保法に基づく他国軍への後方支援などの自衛隊の出動の差し止めを求める行政訴訟である…などの説明がありました。

続いて、違憲訴訟の原告を代表して7人が発言しました。【発言要旨：下記参照】そして、各政党から**近藤昭一**民進党幹事長代理、**山下芳生**共産党副委員長、**吉田忠智**社民党党首がそれぞれ連帯の挨拶を行いました。

原告7人の訴え（要旨）

志田陽子さん（憲法学者）

憲法教育者は昨年の安保法成立以降、平和教育や社会活動がとてもしにくくなり、研究活動や教育活動に支障をきたしている。これを解決するには、憲法に違反する国政の在り方を違憲だと提訴する以外にないと判断した。



チェ・ソンエさん（崔善愛・ピアニスト）

ある音楽家は「何よりも大事なことは子どもの命を守ることだ。だから戦争になれば音楽を捨てる」と言った。専門の道究めたいと思って、人の命を置き去りにしてしまう、こんなことが今の事態を招いている。



石川徳信さん（宗教家）

20世紀の戦争で6600万人が死んだ。戦争ほど悲惨でみじめなものはない。今回の法律は全体に許すことができない。この裁判も世論の力で勝とう。



原かおるさん（障がい者）

かけがえのない命が、合法的に優先順位をつけられる時代の扉が開かれようとしている。両親も私も障がい者として困難な中、必死で生きてきた。今日一日の命をいただき、生きることがどんなに尊いことか。しかし、安保法制でこれからの未来が不安と恐怖をよびますもので、みすごすことができない。



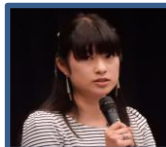
辻仁美さん（ママの会）

私は子どもを戦争にやるために産み育ててきたわけではない。だから安保法廃止のためにはなんでもやろうと決めた。平和な社会を次の世代につないでいくことは私たちの切実な願いだ。司法に問うことで世論を喚起し、安保法の廃止につなげたい。



菱山南帆子さん（市民連絡会）

父と兄を戦争でなくした祖母は、私が小学生の時に演劇のために被った防空頭巾とモンペの私の姿を見て泣き伏し、あんな戦争は二度としてほしくないと言った。私は祖母の想いを託されたものとして安倍政権を告発していく。憲法違反の危険な戦争法を廃止しよう。



新倉裕史さん（横須賀住民）

米国の同時多発テロの際、米軍基地では土嚢が積み、銃口がこちらに向けられた。湾岸戦争の時も横須賀が米軍の先制出撃基地となった。自衛隊と米軍が一体化し新たなテロを生む軍事行動を起こすことになるのではと心配している。こうならないためにも安保法は廃止しなければならない。



**4・19 総がかり国会前集会に 7500 人参加
私たちはあきらめない！
戦争法を廃止へ！
安倍内閣は退陣を！総がかり行動**



昨年9月19日の安保関連法＝戦争法の強行採決から7か月目にあたる4月19日、総がかり行動実行委員会は国会議員会館前で戦争法の廃止と安倍内閣の退陣を求めて、国会前集会を開催しました。

集会には各政党から、**生活の党の主賓了副代表、民主党の福島瑞穂副党首、民進党の江田憲司代表代行、共産党の小池晃書記局長**が参加、野党共闘の力で参議院選挙の勝利を!と口々に訴えました。

そして、市民連合として応援している北海道5区の衆議院補欠選挙でたたかう**上田文雄前札幌市長**が大接戦で奮闘している現状を報告しました。

伊藤真弁護士は安保法が憲法に違反するとして違憲訴訟を東京地裁を皮切りに各地で集団提訴するこ

とを報告、この取り組みへの応援を訴えました。また、「**黙ってはいられない・戦争法の廃止を求め**る宗教者の会」事務局長の**奥田靖二**さんが宗教者の立場で発言、「我々は仏教者であれクリスチャンであれ、神道であれ命にかかわるものとして殺し殺される戦争を絶対によしとするものではない。宗教や考え年齢の違いを超えて、戦争法の実行を許さず、今こそ手をつなぐ時です」と訴えました。

また、立憲デモクラシーの**山口二郎法政大学教授**や日弁連の**山岸良太氏**が連帯の挨拶。最後に**高田健さん(9条壊すな!実行委員会)**が、「5・3憲法集会、6・5集会の成功のための奮闘を」と呼びかけました。

市民連合がリレートーク 「民主主義ってなんだ?」

4月17日
早稲田大学
大隈講堂に 900人

夏の参議院選挙での野党共闘を推進する市民連合は4月17日、早稲田大学大隈講堂でリレートーク形式による集会を開催、900名が参加しました。

リレートークは上野千鶴子、長谷部恭男、津田大介、香山リカ、浜矩子、落合恵子、奥田愛基の各氏ら12名が憲法や安保法、参議院選挙等をテーマに語りました。

登壇した方々の主な発言内容は次の通りです。

■上野千鶴子さん(東大名誉教授)



昨年国会前でのたたかいは日本の政治文化を変えるものだった。変えたのは私たちだ。若者への期待もあるが、我々は死ぬまでたたかうしかない。

■長谷川恭男さん(早大教授)



熊本の地震で緊急事態条項を改憲に盛り込むべきとの動きがあるが、現行法でも充分対応でき、全く必要ないものだ。

■中沢けいさん(法政大学教授)



地震のあった熊本で朝鮮人が井戸に毒を入れている等の悪質なデマが流れている。ヘイトスピーチとは差別と憎悪を扇動する行為だ。安倍政権を契機に強まっている。扇動する彼らは原発推進、安倍政権を支える連中であることを忘れてはならない。

■津田大介氏さん(ジャーナリスト)



民主主義のためにはメディアが健全でなければならないが、今はそうではない。ならば、ネットを活用してその足りない分を補完するしかない。『保育園落ちた、日本死ね!』のブログが世論を形成し、国を動かした例に目を向けるべきだ。ぜひまだの人はスマホの購入を!

■香山リカさん(精神科医)



民主主義とは一人ひとりが認められることだ。しかし、安倍政権はそれを無視して、単にひとくくりをしている。私たちは手をつなぎ心をつなぐ仲間、それぞれが大切な一人ひとり。近くでたたかう人と手をつなぎ、遠くで傷ついている人を見捨てない。大勢だけど一人ひとり、一人だけ大勢。これが民主主義ってなんだへの答えだと思う。

■高田健さん(市民連合)



戦争で人を殺すこともなければ殺されることもなかったこの国の戦後の歴史を安倍政権に打ち止めにしてたまるか。今生きている私たちの責任において、老いも若きも中高年も一緒になって安倍政権の企てを阻止しよう! 参議院選に野党共闘の力で勝利しよう。そのためにも、5・3憲法集会、6・5国会包囲行動に最大限の参加を。

■浜矩子さん(同志社大教授)



民主主義とは他者のために涙することのできる人々が主役である体制のことだ。経済学はその民主主義の上に成り立つ『もらい泣きの経済学』でなければならない。

その経済の対極にあるのがアベノミクスすなわちアホノミクスである。アホノミクスは幼児的凶暴性があり、富国強兵をすすめながら大日本帝国にもどりたいたとする下心の経済だ。これを蹴散らすためには助けを求める人々の声を聞く耳、人のために涙する目、助けを求める人に差し伸べる手が必要だ。この先には人のために泣ける民主主義があり、その先には光り輝く日本国憲法がある。こんな社会を作り上げよう。

■落合恵子さん(作家)



戦争法も、沖縄の基地問題も、原発の再稼働も、TPPも、底流にあるのは命に対する凶暴性を持ち、人権を鼻先で笑うような人々が進めていることだ。誰もが生きる、生き切る権利がある。私たちは声を上げ続け、戦争させない、誰の命も奪わない、誰の命もあいつらに奪わせない。私たちの手で戦争法を廃棄して、立憲主義と民主主義を取り戻さなければならない。

■島田雅彦さん（作家）



『自民党は毎日がエイプリルフール』と山本太郎が言ってるが、いずれ嘘はばれる。政権とか首相というものは、市民に安全や平等や福祉を常にもたらすものでなければならないが、市民を危険にさらし、富めるものをますます豊かにし、貧しいものをより貧しくさせ、情報を隠蔽している。こんな政権は即時停止しなければならない。

■内田聖子さん（アジア太平洋資料センター）



TPPは日本の主権と民主主義の問題であり、人の命を犠牲にしても金儲けしたい強欲資本主義の現れだ。今だけ、金だけ、自分だけしか考えない。安保法の問題と双

子の関係だ。絶対に批准をさせてはならない。

■濱田邦夫さん（元最高裁判事）



熊本地震が発生したが緊急事態条項がなくとも、対応できている。また、日本は自然災害大国だ。日本でまずやるべきことは他国の紛争に自衛隊が関与することではなく、災害にどう対処するかなど身近な問題にどう対処するかだ。

■奥田愛基さん（SEALDs）



民主主義って何かを考えてきたが、どうやったらみんなと一緒に生きていけるんだろう私のままで・・・ってことかなって思う。SEALDsのテーマは、私が私のままでどうやってデモに参加するかだった。時にはしんどいこともあるが、私が私のままで選挙に政治にかかわりたい。なぜなら、私たちのため、私のために政治があるのだから。

立憲フォーラム・戦争をさせない 1000 人委員会共催 さあ！安倍政治を終わらせよう 4.19 院内集会 憲法に緊急事態条項なんて必要ない 講師：小口幸人氏（弁護士）・岩上安身氏（IWJ 代表）



辻元清美議員



次に北海道 5 区の衆議院補欠選挙の状況を立憲フォーラム幹事長の辻元清美衆議院議員が報告、厳しい接戦を展開している。全国から支援をと訴えました。

講演で小口幸人弁護士は、「自民党は憲法改正に緊急事態条項を入れると言っている。今回の地震のどさくさを利用してその必要性を口にしてている。オスプレイの利用もそうだ。絶対に許せない。しかし、阪神淡路大震災や東日本大震災を契機に 200 本の震災対策の法律ができていいる。問題は法律ではなくその運用面で十分でないことが問題なのだ。緊急事態条項は全く必要ない」と訴えました。



次に岩上安身氏が講演。岩上氏は「日本列島は四つのプレートがせめぎ合う世界でも例のない地震大国だ。地震学者の多くがどこで地震が発生してもおかしくない地震の活動期に入っていると警告している。東日本大震災の時、原発が休止中であつた 4 号機の方がもっと大きい事故に発展する危険性があつたことを忘れてならない。また、自民党の法務部会長の丸山氏の憲法調査会での発言であきらかになつたように自民党は、日本が米国の 51 番目の州になることを本気で考え議論している。メディアがこのことを取り上げないことは問題だ」と指摘しました。



ナチスは緊急事態法を利用して独裁の道へ

立憲フォーラムと戦争をさせない 1000 人委員会の共催で、4月19日、さあ！安倍政治を終わらせよう 4・19 院内集会を参議院議員会館講堂で開催し、300 人が参加しました。

江崎たかし議員



集会は江崎たかし参議院議員の司会で進行し、まず、立憲フォーラムの代表、近藤昭一衆議院議員が挨拶し、「安倍政権は絵にかいたような専制的な政権だ。麻生副総理がナチスの手法に学んだらどうかと発言したが、ナチスは全権委任法を成立させる前にワイマール憲法にあつた緊急事態条項を利用して独裁の道歩んだ。今日はその緊急事態法をテーマに集会を開く。危機感を持ちこの状況を打開していこう」と訴えました。



近藤昭一議員

戦争法の廃止を求める 2000万統一署名に総力を！

各地で街頭・各戸訪問等の 署名活動が取り組まれています

◆日音協（日本音楽協議会東京支部） 山手線一周歌付き署名活動を実施中

日音協では1月より山手線一周全駅行動を実施しています。参加していただいた方々からは「歌があると署名が取りやすい」「元気が出る」等の感想が寄せられています。ご自分の所属するグループの旗やゼッケン・ボードもご自由にお持ち込みください。

今後の日程は下記のとおり。多くの参加者・協力者を呼び掛けています。

5月8日(土)——11時 駒込駅、13時 目白駅、15時 高田馬場駅
5月28日(土)——17時45分 池袋駅(東口)
5月29日(日)——13時 新大久保駅、15時 渋谷駅

◆東京・杉並1000人委員会 毎週火曜日に杉並区内各沿線駅頭で署名活動

毎週火曜日に駅頭で署名活動

5月10日(火) 荻窪駅南口(JR中央線) 12時~13時まで
5月17日(火) 荻窪駅北口(JR中央線) 12時~13時まで
5月24日(火) 阿佐ヶ谷駅前(JR中央線) 12時~13時まで

◆戦争をさせない1000人委員会・いちかわ 街頭署名活動や集会など

5月12日(木) 18:00から
下総中山駅・南行徳駅一川総がかり行動
5月28日(土) 13:30
市川憲法集会2016 グリーンスタジオ参加費500円
6月3日(金) 13時 市川駅北
澤地久枝さん提唱の「アベ政治を許さない」プラカード提示行

◆戦争をさせない1000人委員会・千代田中央の会 街頭宣伝

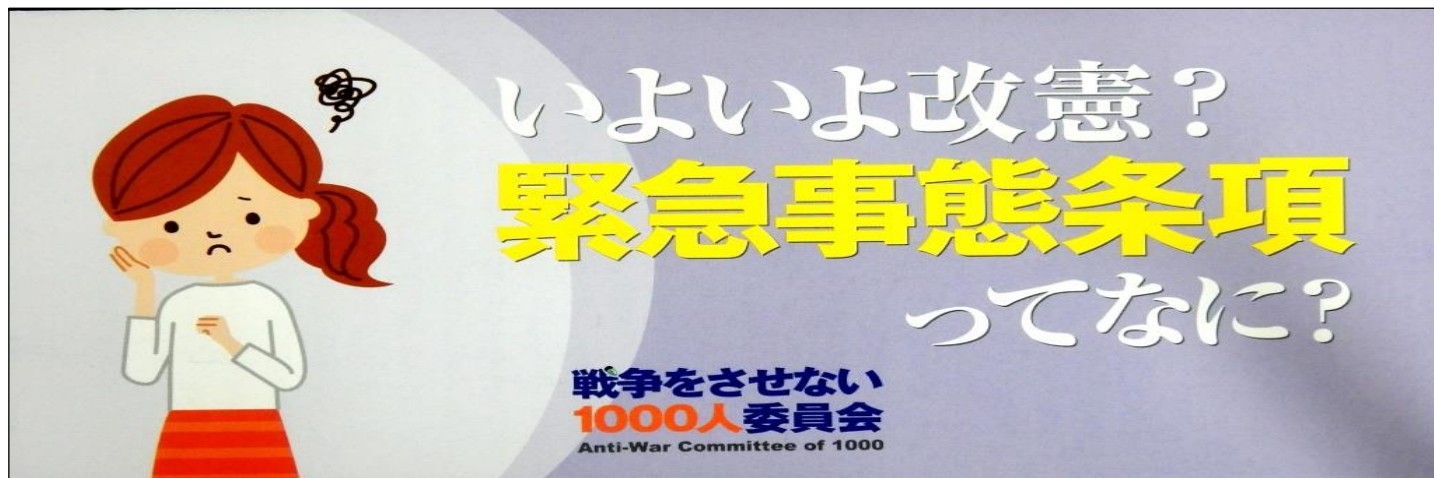
5月19日(木) 17:30 神保町交差点

各地での活動内容をご報告いただくとありがたいです。よろしくおねがいします。

[連絡先 Email—info@anti-war.info](mailto:info@anti-war.info), FAX—03-3526-2921

リーフレットの紹介

[いよいよ改憲？緊急事態条項ってなに？]



ご希望の方は、下記まで。送料負担をお願いします。

戦争をさせない1000人委員会

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-15 塚崎ビル三階

TEL03-3526-2920 FAX03-3526-2921

◆◆◆ 主な行動日程 ◆◆◆

■5月3日(火)

明日を決めるのは私たち—平和といのちと人権を！5・3憲法集会

時間：12:00～コンサート 13:00～集会 14:30～デモ(予定)

場所：東京臨海広域防災公園 主催：5・3集会実行委員会

■5月17日(火)

第3火曜日一斉街頭宣伝行動

■5月19日(木)

2000万人署名国会提出日

時間場所等—詳細未定

■5月19日(木) 18:30～

私たちはあきらめない！戦争法を廃止へ！安倍内閣は退陣を！総がかり行動

場所：衆議院第2議員会館前を中心に

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

■6月5日(日) 14:00～15:30

明日を決めるのは私たち、政治を変えよう！6・5全国総がかり行動

場所：国会周辺 霞が関官庁街周辺